

「SAQR14番外編 秩父へ向かってチンタッタ」 解答用紙 (Excel版)

チーム名		走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所			
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測) ラリークラスは0.01km単位、ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

区間	距離
SCP(スタート)~1CP	11.57 km
1CP~2CP	8.76 km
2CP~3CP	6.81 km
3CP~4CP	7.52 km
4CP~5CP	4.62 km
5CP~6CP	3.48 km
6CP~7CP	6.48 km
7CP~8CP	6.68 km
8CP~9CP	10.07 km
9CP~10CP	7.00 km
10CP~11CP	3.50 km
11CP~FCP(ゴール)	7.42 km
9CP~α CP(オプション)	2.48 km

参加クラス	ラリークラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-B	鶴の姿
Q-C	ならない
Q-D	6回
Q-E	19代目
Q-F	B
Q-G	ゴリラ岩
Q-H	野末張見晴台 のすばり 標高
Q-I	飯盛山と呼称される峰が2つあるため
Q-J	0.15km
Q-K	天に向かって昇る舟
Q-L	昔は川だった証拠
Q-M	中国語の簡体字と繁体字の標記が同じものについても、両方記載している
Q-N	右上の2面が(バスケットコートになり)無くなっており、左下(のフットサルコートの横)に2面増えている
Q-O (オプション)	両神山
Q-P	公募の割には少数の苗字に集中している(ため組織票が疑われる)
Q-Q	ライダー
Q-R	花菖蒲園

Q-X1	OD1	Q-X2	熊穴
Q-X3	コノハズク	Q-X4	合角ダム周辺案内板
Q-X5	8CP in	Q-Y	4つ

「SAQR14番外編 秩父へ向かってチンタッタ」 解答用紙 (Excel版)

チーム名		走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所			
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測) ラリークラスは0.01km単位、ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

区間	距離
SCP(スタート)~1CP	11.6 km
1CP~2CP	8.8 km
2CP~3CP	6.8 km
3CP~4CP	7.5 km
4CP~5CP	4.6 km
5CP~6CP	3.5 km
6CP~7CP	6.5 km
7CP~8CP	6.7 km
8CP~9CP	10.1 km
9CP~10CP	7.0 km
10CP~11CP	3.5 km
11CP~FCP(ゴール)	7.4 km
9CP~α CP(オプション)	

Q-B	鶴の姿
Q-C	ならない
Q-D	6回
Q-E	19代目
Q-F	B
Q-G	ゴリラ岩
Q-H	野末張見晴台 のすばり 標高
Q-I	飯盛山と呼称される峰が2つあるため
Q-J	0.15km
Q-K	天に向かって昇る舟
Q-L	昔は川だった証拠
Q-M	中国語の簡体字と繁体字の標記が同じものについても、両方記載している
Q-N	右上の2面が(バスケットコートになり)無くなっており、左下(のフットサルコートの横)に2面増えている
Q-O (オプション)	
Q-P	公募の割には少数の苗字に集中している(ため組織票が疑われる)
Q-Q	ライダー
Q-R	花菖蒲園

参加クラス	ドライブクラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-X1	OD1	Q-X2	熊穴
Q-X3	コノハズク	Q-X4	合角ダム周辺案内板
Q-X5	8CP in	Q-Y	4つ

◆全体

両クラス合わせて22チームの皆様にご参加頂き、ありがとうございました。奥武蔵グリーンラインを含んでいたこともあり、懐かしく走りました、という声を多く頂きました。一方、龍ヶ谷の巨石街道(林道梅本線)は初めて通ったという方が多かったです。クイズでは、体力を使う出題(山吹の里歴史公園、ミュージックパークのテニスコート等)については、困惑の声もありましたので次回以降は考慮したいと思います。参加者の皆様の高齢化を懸念する中、ドライブラリー初参加が2チームありました(もっとも若いとは限らないのですが)。



◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

山道での補正に活かしてもらおうと2つのODを設けたのですが、逆に皆様の混乱を招いたようです。補正率の差が以外と大きかったようで、どの区間にどちらの補正率を用いるかを悩んだという声が多くありました。次回は1つのODに戻すことになりそうです。オプションコースの距離計測は、トライされた方すべてが減点3以内でした。つまりトライしてかえって損した、という方はいなかったこととなります。

Q-B(鶴ヶ島市役所にあるモニュメント)

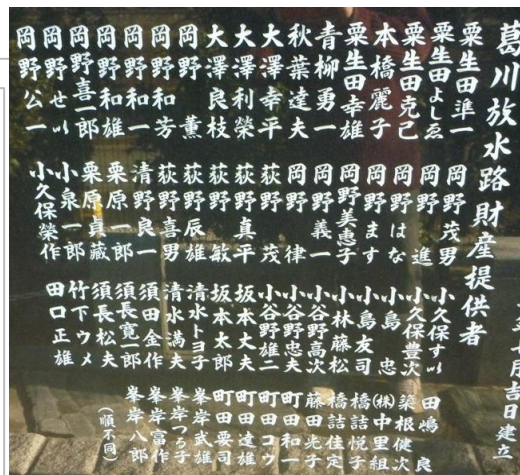
駐車場の反対側にあるものの、探すのは難しくなかったと思います。勘違いして「日時計」と回答する人がいるかも、と思っていましたが、そんな慌てん坊は1人もいませんでした。

正解率=100%

Q-C(財産提供者の並び順)

「順不同」と書かれているのにわざわざ並び順を出題してしまう私は、やはりへそ曲がりなのでしょう。「本橋」さんを末尾に移動し、「竹下」と「田口」さんを入れ替えると、きれいに五十音順になります。ちょっと根気のいるクイズでした。

正解率=64%



葛川放水路財産提供者
 一年七月吉日建立
 当社において、神職が関与せず氏子だけが行う神事に、元旦の初詣とお九日がある。お九日は本来十月十九日であったと思われ、古くは子供の行事であったが、現在は十月十日頃、氏子総代が氏子を率いて当社に参拝している。

Q-D(八坂神社の年間行事数)

OD1そばにあるこの八坂神社にある行事の説明看板から出題。少なくとも年間4つの行事があることはすぐに分かりますが、神職が関与しない神事である初詣とお九日を含めるかどうか悩んだ方が多かったです。ヒントは説明の終盤にありました。「お九日は～古くは子供の行事であった～」と明記されていることから神職が関与しない神事も行事に含め年間6回と数えることとなります。

正解率=45%

Q-E(道灌は何代目か)

山吹の里歴史公園は、以前から気になっていた場所でした。駐車場が狭いのでワンデーイベントでは採用を見送り、番外編で日の目を見ることとなりました。調べると、太田道灌の有名な逸話ゆかりの施設でした。狩りの帰途に雨に遭い、雨具を借りようと立ち寄った民家で娘が差し出したのは一輪の山吹の花。「七重八重 花は咲けども 山吹の 実のひとつだに 無きぞ悲しき」の歌とともに。道灌は怒って民家を後にしましたが、後日「実の」と「蓑」をかけ差し出す雨具が無いことを嘆いた歌だったとわかり、己の学の無さを反省し以降猛勉強した、というものです。真偽のほどは分かりませんが、この狩りの場はここ毛呂であったという説があるそうです。さて、出題は最初に目につく水車小屋から。見落とさずに足し算すればよく、特に引っ掛けがない割には解答ミスが意外とありました。

正解率=77%

Q-F(頂上から見える新しい橋)

この公園の頂上からの眺めは爽快ですが、かなりの急階段を昇る必要があり、老体にはきつい、という感想が複数ありました。ご苦労様でした。現地にある眺望図と現況が一致しないのを、こういう形で出題しました。これは解説は不要ですね。

正解率=95%

Q-G(巨石街道の岩の名前)

林道梅本線に入ると、昨年整備されたと見られる立て看板が頻繁に登場します。ここ龍ヶ谷地区の心意気を感じます。中にはこじつけっぽいものもあり、それを出题対象にしてみました。正解はゴリラ岩なのですが、シン岩にも似ており間違えた方が少しおられました。

正解率=82%

Q-H(野末張見晴台)

OD2を置いたこの見晴台、視界が良ければ素晴らしい眺望です。私は試走時に2回ほど、ここからスカイツリーがはっきり見えました。しかもここはスカイツリーと同じ標高634m。そのことを示している標柱からの出題です。まず、2面に書かれている標高のどちらの写真なのか、これは背景を見比べればすぐに分かるはずなのですが、2チームが間違えてしまいました。次に10チームが引っ掛かったのが振り仮名の「のすばり」も解答しなければいけない点。問題文は「隠されている文字をすべて答えよ」なので、振り仮名といえども省いてはいけません。この手の書き写す系の問題は、旧字や送り仮名なども含め正確でない場合は不正解となるので注意して下さい。

正解率=45%

Q-I(飯盛山の注意事項)

CP地点にある飯盛峠の標柱に付けられた注意書きを見れば、正解が得られます。ここは素直な出題としたため、やはり高い正解率となりました。

正解率=100%

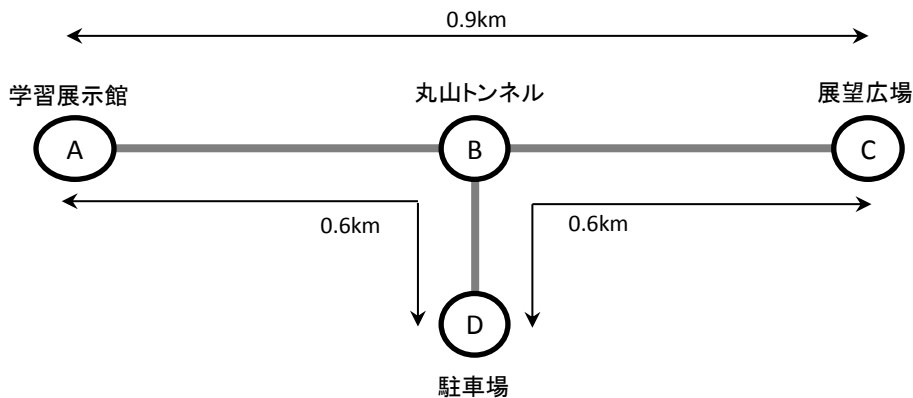


Q-J(県民の森駐車場と丸山トンネル間の距離)

計算問題です。学習展示館と展望広場間の距離0.9kmがヒントとして書かれていること自体がヒントです。このヒントを使って正解を得るためには、あとどの区間の距離を考え合わせれば良いのか、という発想になるかどうか。学習展示館と駐車場間は0.6km、展望広場と駐車場間も0.6km。これを使います。以下の図をご覧ください。A-C間は0.9km、A-D間は0.6km、D-C間は0.6kmという関係です。ここでA-D間+D-C間は $0.6\text{km}+0.6\text{km}=1.2\text{km}$ となります。AからCへ行くのに、Dに途中で寄って行くと1.2kmであることを示しています。直接Cに向かうのに比べてB-D間を往復した分だけ距離が長くなっており、これが1.2kmと0.9kmの差0.3kmです。よってこれの片道分 $0.3\text{km}\div 2=0.15\text{km}$ がB-D間の距離となります。各区間の距離を変数で表し連立方程式を立てて解く方法もあります。ちょっと難しかったですでしょうか。

正解率=45%

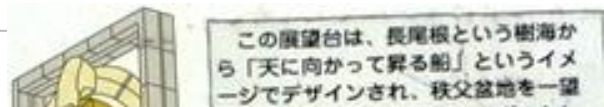
別の解法もあります。駐車場(D)からどちらの施設(A、C)へ向かうにも0.6kmと同じ距離なので、丸山トンネル(B)はちょうどAとCの間にあると考えられます。A-C間が0.9kmですから、A-B間はその半分の0.45km。よってA-D間 $0.6\text{km}-\text{A-B間}0.45\text{km}=\text{B-D間}0.15\text{km}$ 。



Q-K(ミュージックパーク展望台のモニュメント)

展望台へ向かう道の入口(8CP-inの駐車場の向かい)の脇に、正解が書かれた説明板がありました。これを見落とした方は、恐らく想像力を働かせる問題と思われたのでしよう、「風車」などの解答がありました。

正解率=86%



Q-L(丸い石が語っていること)

出題写真の地点は展望台へ向かう途中の道なのですが、正解は展望台まで行って初めて分かります。ただ知識があれば正解可能ではありました。ということで高い正解率となりました。

正解率=91%

Q-M(日本人は真面目とってしまう表記)

作者の考えと一致することが条件ですので、難しかったようです。ただ解答の多くは「簡体字と繁体字の両方を記載」など、親切さを感じさせるものを挙げたものでした。私が真面目と感じたのは、簡体字と繁体字が同じ表記になる場合でも省略せず、決めたルールに従って両方記載している点でした。減点は1点のみですが、結果的に難問となりました。

正解率=9%



Q-N(テニスコートの現況差)

すごく丁寧に見取り図が看板に書かれていたので、本当に合っているのだろうかと見て回ったら、やはり違いがあったため出題しました。しかも2か所違っているので、片方だけ見つけて安心する方が多いだろうという読みでした。結果は、予想通り片方だけ指摘した解答が多く、難問となりました。炎天下で大変だった方もいらしたようです、ご苦勞をおかけしました。

正解率=32%

Q-O(オプションクイズ、案内板の右端の山)

このクイズを不正解したのでは、オプションコースを選んだ意味がなくなってしまうので、なるべく易しい出題にしました。

オプションコース選択チームの正解率=100%

Q-P(西秩父桃湖の命名者)

特定地域に同じ苗字の方が集中していることは珍しくありません。ただこの命名者のリストを見ると、複数の苗字に集中しており、地域性だけの問題では無いと感じました。考えられるのは組織票です。実際は違うのかもしれませんが、このクイズは作者の考えを正解とすることになっているので、ご容赦下さい。配点は1点のみです。同じ苗字が多いという点に触れていれば正解としました。

正解率=50%

Q-Q(道の駅のマーク)

このマーク、実はコース途中にも登場していました。例えば豆腐デザートを紹介した藤屋。小鹿野以外にも登場するとは少々驚きです。「OGANO」を図案化しバイクを表しています。その下には「Welcom Riders」とあるので、これはライダーを歓迎していることが分かります。当初は「ライダー」という解答だけを正解とするつもりだったのですが、マーク自体にはライダーが含まれていないことから、「バイク」も正解とします。

正解率=91%



Q-R(サイクルネットワーク案内板の写真)

2つのコースで同じ観光ポイントを通る場合、ご丁寧にそれぞれに写真を掲載しており、同じ写真をわざわざ載せるとは日本人は真面目だなあとまたしても思ってしまったのですが、その中で1枚だけなぜか写真が異なっているものがあつたので出題しました。この道の駅の他の場所に、サイクルネットワークの別の案内板がありますが、背景などを見比べれば迷うことは無かつたと思います。

正解率=100%

Q-X

今回は目立つものが多かったり、登場場所が想像できたり、簡単だったのではないでしょうか。複数の方がやってしまったのがQ-X1(欠けた板碑)で、「OD」とだけ解答していました。今回はODが2つあることをうっかり忘れていたのですね。ここは厳しく「OD1」のみ正解としました。Q-X3(フクロウの名称)では「コノハズク」と答えるべきところ、「FCP」と答えてしまった方も複数！もったいない！ 他は良い出来でした。

Q-X全体正解率=92%

Q-Y(秩父のダムの数)

合角ダムにちなんで出題しました。地域全般についての出題は、番外編の恒例となりました。秩父のダムの数は、地図を見ても分かりますし、合角ダムの展示室にも掲示があります。

Q-Y正解率=91%

